



自動更新と自動設定

この章は、次の項で構成されています。

- [boot host auto-config](#) (2 ページ)
- [boot host auto-update](#) (4 ページ)
- [show boot](#) (5 ページ)
- [ip dhcp tftp-server ip address](#) (7 ページ)
- [ip dhcp tftp-server file](#) (8 ページ)
- [ip dhcp tftp-server image file](#) (9 ページ)
- [show ip dhcp tftp-server](#) (10 ページ)

boot host auto-config

DHCP を介した自動設定を有効にするには、**boot host auto-config** グローバルコンフィギュレーションモードコマンドを使用します。DHCP 自動設定を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

```
boot host auto-config [tftp | scp | auto [extension]]
```

```
no boot host auto-config
```

パラメータ

- **tftp** : 自動設定で TFTP プロトコルのみが使用されます。
- **scp** : 自動設定で SCP プロトコルのみが使用されます。
- **auto** : (デフォルト) 自動設定で、コンフィギュレーションファイルの拡張子に応じて TFTP プロトコルまたは SCP プロトコルが使用されます。このオプションを選択した場合は、extension パラメータを指定できます。指定しない場合は、デフォルトの拡張子が使用されます。
- **extension** : SCP ファイルの拡張子。値が指定されていない場合は、「scp」が使用されます。(範囲: 1 ~ 16 文字)

デフォルト設定

デフォルトでは、**auto** オプションを使用して有効になっています。

コマンドモード

グローバルコンフィギュレーションモード

使用上のガイドライン

コンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはアップロードするために、TFTP プロトコルまたは SCP プロトコルが使用されます。

例 1. 次の例では、auto モードを指定し、SCP 拡張子として「scon」を指定しています。

```
switchxxxxxx(config)# boot host auto-config auto scon
```

例 2. 次の例では、auto モードを指定し、SCP 拡張子を指定していません。

この場合は、「scp」が使用されます。

```
switchxxxxxx(config)# boot host auto-config auto
```

例 3. 次の例では、SCP プロトコルのみが使用されるように指定しています。

```
switchxxxxxx(config)# boot host auto-config scp
```

boot host auto-update

DHCP を介した自動更新のサポートを有効にするには、**boot host auto-update** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。DHCP 自動設定を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

```
boot host auto-update [tftp | scp | auto] [extension]
```

```
no boot host auto-update
```

パラメータ

- **tftp** : 自動更新で TFTP プロトコルのみが使用されます。
- **scp** : 自動更新で SCP プロトコルのみが使用されます。
- **auto** (デフォルト) : 自動更新は間接イメージファイルの拡張子に応じて TFTP プロトコルまたは SCP プロトコルを使用します。このオプションを選択した場合は、**extension** パラメータを指定できます。指定しない場合は、デフォルトの拡張子が使用されます。
- **extension** : SCP ファイルの拡張子。値が指定されていない場合は、「scp」が使用されます。(範囲: 1 ~ 16 文字)

デフォルト設定

デフォルトでは、**auto** オプションを使用して有効になっています。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

イメージ ファイルをダウンロードまたはアップロードするために、TFTP プロトコルまたは SCP プロトコルが使用されます。

例 1 : 次の例では、**auto** モードを指定し、SCP 拡張子として「scon」を指定しています。

```
switchxxxxxx(config)# boot host auto-update auto scon
```

例 2 : 次の例では、**auto** モードを指定し、SCP 拡張子を指定していません。この場合は、「scp」が使用されます。

```
switchxxxxxx(config)# boot host auto-update auto
```

例 3 : 次の例では、SCP プロトコルのみが使用されるように指定しています。

```
switchxxxxxx(config)# boot host auto-update scp
```

show boot

IP DHCP 自動設定プロセスのステータスを表示するには、**show boot** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

show boot

コマンドモード

特権 EXEC モード

例

```
switchxxxxxx# show boot
Auto Config
-----
Config Download via DHCP: enabled
Download Protocol: auto
SCP protocol will be used for files with extension: scp
Configuration file auto-save: enabled
Auto Config State: Finished successfully
Server IP address: 1.2.20.2
Configuration filename: /config/configfile1.cfg
      Auto Update
      -----
Image Download via DHCP: enabled
switchxxxxxx# show boot
Auto Config
-----
Config Download via DHCP: enabled
Download Protocol: scp
Configuration file auto-save: enabled
Auto Config State: Opening <hostname>-config file
      Auto Update
      -----
Image Download via DHCP: enabled
switchxxxxxx# show boot
Auto Config
-----
Config Download via DHCP: enabled
"Download Protocol: scp
Configuration file auto-save: enabled
Auto Config State: Downloading configuration file
      Auto Update
      -----
Image Download via DHCP: enabled
switchxxxxxx# show boot
Auto Config
-----
Config Download via DHCP: enabled
Download Protocol: tftp
Configuration file auto-save: enabled
Auto Config State: Searching device hostname in indirect file
      Auto Update
      -----
Image Download via DHCP: enabled
```

```
switchxxxxxx# show boot
Auto Config
-----
Config Download via DHCP: enabled
Download Protocol: tftp
Configuration file auto-save: enabled
  Auto Update
  -----
Image Download via DHCP: enabled
Auto Update State: Downloaded indirect image file
Indirect Image filename: /image/indirectimage.txt
```

ip dhcp tftp-server ip address

バックアップサーバの IP アドレスを設定するには、**ip dhcp tftp-server ip address** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。このアドレスは、DHCP サーバからアドレスが受信されなかった場合にスイッチにより使用されるデフォルト アドレスとなります。デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

ip dhcp tftp-server ip address *ip-addr*

no ip dhcp tftp-server ip address

パラメータ

- *ip-addr* : TFTP サーバまたは SCP サーバの、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト設定

IP アドレスはありません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

バックアップサーバには、TFTP サーバまたは SCP サーバを使用できます。

例

例 1。 次の例では、TFTP サーバの IPv4 アドレスを指定しています。

```
switchxxxxxx(config)# ip dhcp tftp-server ip address 10.5.234.232
```

例 2。 この例では、TFTP サーバの IPv6 アドレスを指定します。

```
switchxxxxxx(config)# ip dhcp tftp-server ip address 3000:1::12
```

例 3。 この例では、TFTP サーバの IPv6 アドレスを指定します。

```
switchxxxxxx(config)# ip dhcp tftp-server ip address tftp-server.company.com
```

ip dhcp tftp-server file

コンフィギュレーションファイルが DHCP サーバから受信されなかった場合にバックアップサーバからダウンロードするコンフィギュレーションファイルの完全なファイル名を設定するには、**ip dhcp tftp-server file** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。名前を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

ip dhcp tftp-server file *file-path*

no ip dhcp tftp-server file

パラメータ

- **file-path** : サーバ上のコンフィギュレーション ファイルの完全なファイルパスおよび名前。

デフォルト設定

ファイル名はありません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

バックアップサーバには、TFTP サーバまたは SCP サーバを使用できます。

例

```
switchxxxxxx(config)# ip dhcp tftp-server file conf/conf-file
```


ip dhcp tftp-server image file

イメージファイルがDHCPサーバから受信されなかった場合にバックアップサーバからダウンロードするイメージファイルの間接ファイル名を設定するには、**ip dhcp tftp-server image file** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。ファイル名前を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

ip dhcp tftp-server image file *file-path*

no ip dhcp tftp-server image file

パラメータ

- **file-path** : サーバ上のコンフィギュレーションファイルの完全な間接ファイルパスおよび名前。

デフォルト設定

ファイル名はありません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

バックアップサーバには、TFTP サーバまたは SCP サーバを使用できます。

例

```
switchxxxxxx(config)# ip dhcp tftp-server image file imag/imag-file
```

show ip dhcp tftp-server

バックアップサーバに関する情報を表示するには、**show ip dhcp tftp-server** EXEC モード コマンドを使用します。

構文

show ip dhcp tftp-server

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

使用上のガイドライン

バックアップサーバには、TFTP サーバまたは SCP サーバを使用できます。

例

```
show ip dhcp tftp-server
server address
active 1.1.1.1 from sname
manual 2.2.2.2
file path on server
active conf/conf-file from option 67
manual conf/conf-file1
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。